

## 訪日外国人旅行者の受入環境整備に係る戦略拠点・地方拠点の選定について

### 1. 目的

訪日外国人旅行者の受入の拠点となる戦略拠点及び地方拠点を設定し、国・地方公共団体・民間事業者等が連携し、訪日外国人旅行者の受入環境の整備・充実を総合的に推進することで、全国的に訪日外国人旅行者が安心して快適に、移動・滞在・観光することができる環境を提供し、訪日外国人旅行者の訪問を促進するとともに、満足度を高め、リピーターの増加を図ることを目指す。

### 2. 既選定拠点（全国23拠点）（4/13発表）

外客受入戦略拠点（現在多くの訪日外国人旅行者が来訪している地域）【12拠点】  
札幌、函館、登別、浦安、東京（秋葉原、銀座、蒲田）、横浜、富士河口湖・笛吹、京都、大阪、福岡

外客受入地方拠点（今後訪日外国人旅行者の増加が見込まれる地域）【11拠点】  
箱根・湯河原・熱海、湯沢、金沢、高山、伊勢志摩、奈良、田辺・白浜、松江、高知、別府、鹿児島

◎東北地方については今後の状況を踏まえながら観光庁で選定を検討する。

### 3. 今回、会津若松市として外客受入地方拠点に選定。

### 4. 今後の事業整備について

拠点選定（6月）

↓

受入環境水準向上事業の実施（9月頃～）

↓

効果検証（2月頃）